

流通経済大学 vs 順天堂大学

10月27日(日)
11:30K.O.
味フィ西

宿敵・筑波大との一戦は、1-1のドローに終わった流経大。前半12分に先制点を奪って幸先のいいスタートを切り、前半は相手の攻撃をしっかり抑えることにも成功したが、後半は相手に押されて1失点。

「それでも引き分けることができてよかった。状態がよければ1-0で勝ちきらなければいけない試合だが、あまりいい状態ではない。ここからしっかりと成長していかなければいけない」(中野雄二監督)

10月21日(月)にはジェフ千葉と練習試合を実施したが、こちらは1-5の敗戦。なかなかいいプレーが出せなかっただけに、チーム全体としてステップアップするために何かを変えていかなければいけないだろう。17節ではメンバーを大幅に替えて試合に臨み、ある程度手応えを得ただけに、

「起用したい1年生もいる。さらに選手を入れ替えて、いいチームを作っていきたい」(中野監督)

15、16節で連敗を喫してしまい、やや調子を落としていた順大。前節は2位・早大とのゲームだったが、前半37分、39分と立て続けに失点。2点をリードされる苦しい状況に追い込まれた。それでも後半18分、38分にゴールを決めて同点に追いつく粘りを見せ、何とか

勝点1をゲット。しかし、吉村雅文監督は、「後半のような戦いを前半からできないと、格上のチームには勝てない。前半に2失点はあり得ない」と厳しい表情だった。こここのところ守備が安定していないだけに、もう一度、しっかりとディフェンスから入ることを念頭に試合に臨みたい。

「流経大は格上のチーム。しっかりと守備をし、順大本来の戦いをしたい」(吉村監督)

出場停止: 藤原雅斗(流経大) 警告3回: 宮本和輝(順大)

前回の対戦: 流経大0-0(シュート数9-3) 順大 流経大 順大

4. 有賀	6. 富田	8. 天野	16. 吉永
3. 鈴木	33. 山岸	5. 新井	
25. 古波津		15. 青木	
22. 吉田		11. 原田	14. 長谷川
7. 中山		6. 岡崎	
5. 川崎	18. 田上	3. 清水	
35. 佐々木	10. 椎名	7. 和田	13. 宮本

早稲田大学 vs 慶應義塾大学

10月27日(日)
13:50K.O.
味フィ西

必死に首位の専大を追いかける早大だが、前節の順大との一戦は2点をリードしながら追いつかれ2-2。痛恨のドローとなってしまった。

「勝ちきらなければいけない試合だった。順大がどんどんアクションを起こしてきて、それに対応しきれなかった」(古賀聡監督)

前半は完全に早大がゲームを掌握。「こちらが積極的にアクションを起こし、守備でプレッシャーをかけ続けることができた」(古賀監督)

しかし、2点リードの余裕からではないだろうが、後半に入ると後手に回る時間が多くなってしまい、シュート数はわずかに1本。ボールを奪うことはできていたものの、そこからなかなか攻撃につなげることができず停滞してしまっ。この引き分けにより、専大との勝点差は10ポイントにまで開いてしまった。直接対決が残されているとはいえ、優勝に向けては非常に厳しい数字だが、ここであきらめるわけにはいかない。

一方の慶大も残留に向けて必死だ。17節の専大戦は守備陣が奮闘したが、0-1の敗戦。しかし、今後可能性を感じさせた試合だった。そして、水曜日に行われた延期試合の筑波大戦だが、先制点を奪われたものの逆

転勝利。確実にチームの調子は上向いているだけに、今後の戦いが楽しみだ。

「守備の連動がよかった。みんなの気持ちに乗って、勝利に向かって一つになれた」(須田芳正監督)

1週間ですべて試合とハードな試合になるが、ここはしっかりと乗りきりたいところ。ディフェンス面でやや引きすぎたシーンがあっただけに、その部分は修正したい。

出場停止: 池西希(早大)、溝渕雄志(慶大)
警告3回: 中田航平(早大)、松下純土(慶大)

前回の対戦: 早大2-1(シュート数8-7) 慶大 早大 慶大

6. 三竿	8. 近藤洋	6. 山浦	2. 岩田
3. 金沢	10. 榎本	30. 長尾	22. 久保
4. 中田		20. 端山	
21. 阿部		12. 福本	
28. 石川		8. 松下	
2. 奥山	25. 宮本	10. 武藤	13. 望月
26. 西山	7. 近藤貴	14. 川田	5. 増田

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想

JR東日本カップ 2013 第87回 関東大学サッカーリーグ戦

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAM

VOL.25-NO.18 Division1



編集: 加茂郁実 発行: 関東大学サッカー連盟 協力: 関東大学サッカーサポーターズクラブ

専大が3連覇に向けて快走!

大雨により2試合が中止、延期になった第17節の「JR東日本カップ2013第87回関東大学サッカーリーグ戦」。延期の2試合は10月22日(火)に、天皇杯の影響で延期となっていた慶大 vs 筑波大は23日(水)にそれぞれ行われ、全チームが同じ試合数だけ消化し、残り5試合となった。

その前節だが、首位を走る専大は残留争い中の慶大と対戦。専大は徹底的に守る慶大の前に、なかなか決めきれない苦しい試合となったが、後半12分に長澤和輝(4年)がゴールをゲットして1-0で慶大を下し、首位を快走中。慶大は敗れたものの、ここ2試合、守備陣が健闘しており、明るい兆しが見え始めている。

大雨のため日曜日から火曜日に日程変更となった早大と順大の一戦は、早大が前半に2点をリード。しかし、後半に2失点し2-2と痛い引き分けに終わった。順大は連敗と苦しい戦いが続いていたが、何とか勝点をゲット。

流経大と筑波大のゲームは、前半12分に流経大が先制点を奪ったが、後半11分に筑波大が同点に追いつく展開。後半、筑波大は猛攻を仕掛けたが2点目は奪えず、1-1の引き分けに終わった。

中大と明大の上位対決は中大が先制点を奪ったものの、その後は明大のペース。後半に着々と加えた明大が3-1で中大を下した。中大は上位進出への足がかりにできなかった。

得点ランキング

仲川 輝人(専大)	12点
長澤 和輝(専大)	10点
榎本 大希(早大)	9点
和泉 竜司(明大)	8点

アシストランキング

橋本 拓門(国士大)	7アシスト
中野 嘉大(筑波大)	5アシスト
砂川 優太郎(中大)	5アシスト
仲川 輝人(専大)	5アシスト
以下4アシスト8名	

後半戦好調の国士大は、前節も素晴らしい戦い。桐蔭大を5-0と大差で下し、後半戦はまさに向かうところ敵なしといった感じだ。桐蔭大は後半33分に退場者を出したこともあり、踏ん張りきれなかった。

残留争いの直接対決となった日体大と東洋大の一戦は、互いに譲らず2-2の痛み分けに終わった。

そして、23日(水)に行われた筑波大と慶大の試合。前半26分に筑波大が先制点を奪ったが、あとがない慶大が2点を奪って逆転勝利。1部残留に向けて大きな1勝を挙げた。

残り5試合、どのチームも優勝、インカレ出場、残留に向けて必死にプレーしている。今週も熱い戦いが見られそうだ。

JR東日本カップ 2013 [第87回] 関東大学サッカーリーグ戦 星取表

順位	チーム名	専大	早大	筑波大	明大	国士大	中大	桐蔭大	流経大	順大	日体大	慶大	東洋大	試合数	勝	分	敗	得点	失点	得失差	勝点
1	専大	201	201	401	201	502	602	203	201	1117	601	301	17	13	2	2	45	19	26	41	
2	早大	102	100	201	201	1122	1119	300	001	1117	201	100	17	9	4	4	27	23	4	31	
3	筑波大	102	001	000	102	002	100	111	301	302	102	515	17	7	5	5	31	23	8	26	
4	明大	104	102	000	201	103	302	000	401	000	202	001	17	7	5	5	28	23	5	26	
5	国士大	102	102	201	102	201	001	111	005	001	203	201	17	8	2	7	28	25	3	26	
6	中大	205	102	200	301	102	111	000	200	001	100	111	17	7	4	6	30	21	9	25	
7	桐蔭大	206	111	001	203	100	111	301	302	100	201	102	17	7	2	8	25	32	-7	23	
8	流経大	102	100	103	104	500	002	203	000	1110	602	212	17	5	6	6	17	24	-7	21	
9	順大	102	202	味フィ西	江戸陸	古河	201	102	味フィ西	300	1112	102	17	5	4	8	30	28	2	19	
10	日体大	111	111	203	000	100	001	200	111	101	102	301	17	4	5	8	21	28	-7	17	
11	慶大	106	102	201	212	302	001	102	103	206	201	201	17	5	1	11	22	45	-23	16	
12	東洋大	103	001	515	100	102	111	201	001	212	103	102	17	3	4	10	24	37	-13	13	

体育会学生のための
リクナビ就職エージェント

自分を超えて、進もう。

部活と就活にエールを送る! 体育会学生のための「リクナビ就職エージェント」
http://job.rikunabi.com/agent/athlete/info02/

中央大学 vs 国士舘大学

10月26日(土)
13:50K.O.
駒二

前節の明大戦は、前半26分に先制点を奪うことに成功した中大だが、10分後に同点に追いつかれたうえに後半に2失点。

「後半のプレーで勝負がついてしまった。動き出しにしても球際にしても、相手のほうが上回っていた。気持ちの面で前に向かなかったので、このような結果になってしまった」(白須真介監督)

15、16節は大量得点で2連勝と調子を上げていただけに、ここでの敗戦は非常に痛い。

「後半の攻撃が単調になりすぎた。ボールをしっかりと動かしながら、ゲームを進めていけるようにしなければいけない。“シンプルにボールを裏へ”というハーフタイムの指示を繰り返しやりすぎてしまい、明大にボールを保持されてしまった」(白須監督)

戦いを徹底させることも必要だが、それに偏重し、状況に応じたプレーができなかった点を修正したい。

後半戦の不敗記録が続く国士大。前節もまったく桐蔭大を寄せつけず5-0と圧倒した。しかし、

「先制点を取るのに苦労していた。立ち上がり10~15分は点を取るチャンスあったが、なかなか決まらなかった。一方、何回かカウンターをくらって危ない場面もあ

った」(細田三二監督)

「のように、苦しい立ち上がりだったのは確か。ただ、そこをしっかりとしのぎきるだけの力を持っており、逆に前半34分に先制点を奪うとゴールラッシュ。

「トレーニングしていることで点を取れた。2点取ったあと、守備に回ったときも落ち着いて相手のボールを奪えたことがよかった」(細田監督)

国士大の快進撃はどこまで続くのか!?

出場停止:小出啓太(中大)警告3回:岡崎亮平、細見諒(以上中大)

前回の対戦:中大1-2(シュート数8-6)国士大

中大		国士大	
6. 高瀬	10. 澤田	26. 佐々木	2. 石川
5. 木村		8. 福田	3. 吉田
	8. 田辺		20. 松本
1. シュミット	25. 渋谷	11. 川越	21. 久保田
	4. 細見		7. 橋本
3. 大和田		10. 新村	4. 今瀬
13. 鈴木	7. 砂川	14. 進藤	12. 加藤

桐蔭横浜大学 vs 東洋大学

10月27日(日)
11:30K.O.
BMWス

今シーズン1部に昇格したチーム同士の対戦。まず、桐蔭大の前節だが、国士大に0-5の大敗。

「完敗。アウェイということもあった。相手はものすごく勢いがあり、厳しい試合だった。いいところを見つけるのが難しい。ミスも多かった」(八城修監督)

ハードワームや切り替えの部分など、基本的なことをしっかりとやって、チーム全体で一つになって戦っていかなければいけないが、そういった部分が国士大戦では影を潜めたといえる。今後は開き直りも必要だろう。

「正直、悪い試合だったので、ここでどう立て直せるかがチームの成長につながってくる。苦しいときほどチャンスがあると信じ、成長の機会だと考えたい」(八城監督)

インカレ出場権を巡って激しい戦いが今後も続くが、自分たちのサッカーに自信を持ってやり続けたい。

降格圏外へ浮上しようと必死の東洋大だが、前節の日体大戦は2-2の引き分けに終わった。

先制点を奪われながら一度は逆転に成功しただけに、何とかそのまま終わりがたかったが守りきれなかった。「相手に先制点を与えないということで試合に臨んだが、先手を取られてしまった。その後、選手たちが慌てずにボールを動かして自分たちのサッカーをやり、逆転

できた。それは自信になる部分」(古川毅監督)

一方で、「うまくリードを保ちながら、相手が出てきたところで3点目を取ればよかったが……」(古川監督)

「のように、後半のプレーは課題が残った。チーム全体としては攻撃面で手応えを感じただけに、あとは失点の部分をしっかりと修正したい。

出場停止:今関耕平(桐蔭大)警告3回:大泉和也、福島翔太郎、古澤慶太、山根視来(以上桐蔭大)

前回の対戦:桐蔭大1-2(シュート数6-8)東洋大

桐蔭大		東洋大	
16. 長谷	19. 佐々木	11. 黒須	7. 馬渡
4. 古澤		29. 仙頭	4. 郡司
	35. 大野		6. 石川
1. 島崎	9. 大泉	10. 坪井	1. 浅沼
	14. 上野		10. 桑田
6. 福島		13. 川森	16. 筑井
33. 田内	8. 山崎	8. 年森	3. 鈴木

日本体育大学 vs 明治大学

10月26日(土)
13:50K.O.
川口

6連敗と、まったく結果が出ずに苦しんでいる日体大。前節は同じく残留争いで苦しむ東洋大との直接対決だったが、結果は2-2の引き分けに終わった。

「2失点に抑えられたのはよかったが、失点はともにクロスから。上げさせないこと、そして中でもマークという部分を、徹底しなければいけない」(倉又寿雄監督)

ただ、ゲーム自体は復調の兆しを見せている。前半に失点するまでは裏を狙って積極的にプレーができていたし、後半はボールを保持する時間も長くチャンスを作っていた。しかし、そこで決めきれないのが問題。

「決定力という部分は今後、しっかりとやっていかなければいけない。今節の明大は現在、調子のいいチーム。前回の対戦は引き分けだったので、またしっかりと準備をして戦いたい」(倉又監督)

調子を上げていた中大を3-1で下した明大。この日の明大は、いつも以上に気合が入っていた。

「これまで、いい内容であっても勝てていなかった。中大戦は内容もついてきているし、勝ててよかった。選手も自信になるのではないかと、

と、神川明彦監督も納得の表情を浮かべた。

しかし、決して満足はしていない。

「セットプレーでマークを外してしまい、1失点してしまったので改善の余地がある。攻撃面は効果的にサイドを変えられるといい。あとは決定力の部分」(神川監督)

中大戦の1勝は、大きなターニングポイントになる可能性もあるだろう。

今節は結果が出ていない日体大との対戦だが、

「内容はよくなってきているので、新しいものに着手するよりは、今よりさらによくしていきたい」(神川監督)

警告3回:阿部潤、宮内啓汰(以上日体大)

前回の対戦:日体大0-0(シュート数8-9)明大

日体大		明大	
2. 宮内	15. 阿部	18. 秦	12. 室屋
5. 中西	14. 長谷川	8. 和泉	3. 山越
	10. 稲垣		6. 水野
21. 大野			1. 三浦
	6. 石井		16. 差波
4. 菊地	9. 田中	22. 藤本	4. 小出
13. 川田	7. 梅村	27. 石原	15. 高橋

専修大学 vs 筑波大学

10月27日(日)
13:50K.O.
BMWス

3連覇に向けて着々と歩みを進める専大。2位・早大との勝点差は10ポイントとかなり開いたが、一つひとつの試合を振り返ってみると決して楽な戦いはない。前節の慶大戦も1-0での勝利。立ち上がり直後のチャンスを外し、その後も攻め込みながら決定機を決めきれない時間が続いて前半は0-0。チームにはイヤな雰囲気

が漂った。ただ、今年の専大は、こういった僅差の試合を勝利に結びつけるだけの粘り強さを持っている。後半12分に仲川輝人(3年)がシュート。これは惜しくもポストに阻まれたが、そのこぼれ球を長澤和輝(4年)が決めて先制点をゲット。その後、2点目を決めきれないという反省点は残ったが、守備陣は2試合連続で完封と安定感が出てきた。これで得点数はリーグ最多に、失点数はリーグ最少に。専大はこのまま走り続けるのか!?

後半戦好調な筑波大。しかし、17節で流経大の堅い守備をなかなか崩しきれずに1-1の引き分けに終わると、水曜日に行われた第10節の延期試合・慶大戦も1-2の敗戦を喫してしまった。3位をキープしているものの、ここでの連敗だけは絶対に避けたいところ。慶大戦ではDF車屋紳太郎(3年)が出場停止だったが、守備陣の問題というよりも2試合連続で1得点に終わって

いる攻撃陣に、もっと思いきりよくプレーしてもらいたいところだ。しかし、

「ここにきてケガ人が多く、人を替えなければいけない状態。今まであまり試合に出場していなかった選手に、自信を持ってプレーしてほしい」(中山雅雄監督)

「のように、メンバー編成は難しい状況にある。いかに打開できるか。

警告3回:河津良一、仲川輝人、前澤甲貴(以上専大)、上村岬、谷口彰悟、中野嘉大、若杉拓哉(以上筑波大)

前回の対戦:専大2-1(シュート数20-12)筑波大

専大		筑波大	
	12. 小口	11. 中野	18. 早川
	15. 篠崎	7. 長澤	14. 前原
	8. 下田		17. 西村
1. 福島	6. 河津	11. 前澤	3. 谷口
	14. 星野		7. 葦本
44. 中村	10. 仲川	19. 若杉	5. 車屋
	2. 北爪	13. 曾山	12. 三丸

※布陣は前節のメンバーを参考にした予想